

よしかわICT教育通信

発行：R4.12 吉川市教育委員会 ☎984-3564（学校教育課）

Vol. 17

ICT とは、Information and Communication Technology、つまり「情報通信技術」を意味します。
ICT 教育は、教育現場で活用される情報通信技術そのものや、取組の総称です。

タブレット端末も年越しを… 冬休み中の活用について

今年も残りわずかとなりました。今号では冬休み期間中、特に気を付けたいタブレット端末の「アップデート」等について紹介します。

アップデートは様々な機能が改善されるだけでなく、セキュリティの状態を最新にしてくれるため、欠かすことができない大切なものです。

アップデートはインターネットに接続されている状態で、最新バージョンが出た時、次のタイミングで実行されます。

- 各アプリケーション：ログインをした時
- OS：再起動（電源の入り切り）をした時

冬休み中、使用後に電源を切らなかったり、全くログインしていなかったりすると、新学期に使う際、一気にアップデートが実行されて動作が重くなるなど、授業に支障が出ることもありますので気をつけましょう。

冬休み中の端末活用について

市ではタブレット端末にフィルタリングソフトを導入し、インターネット上の本当に危険なものから子供たちを守るために、閲覧範囲や端末使用時間に制限をかけています。

しかし「制限する」ことが最終的なゴールとは考えていません。

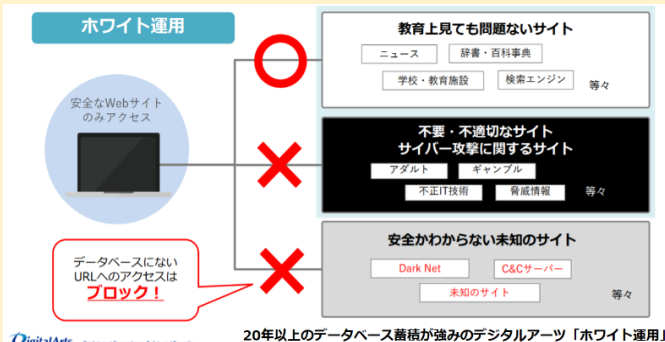
子どもたちが ICT 機器を使いながら、正しい使い方を考えたり、時には失敗をしたりしながら、ICT が浸透した社会をたくましく生き抜く力を身に付けていけるよう、「デジタル・シティズンシップ教育」を進めています。

教育委員会ではデジタル・シティズンシップについての YouTube 配信や、持ち帰り端末活用のリーフレットを配布していますので、参考にさせていただき、この冬休みに親子でタブレット端末の使用時間や使い方を話し合い、ルールを決めてみましょう。

★持ち帰り端末活用のリーフレットは [こちら](#)



フィルタリングソフトの概要



DigitalArts For Internet Commerce, Safety and Security

20年以上のデータベース蓄積が強みのデジタルアーツ「ホワイト運用」

資料：デジタルアーツ提供

利用時間帯を制御

以下の時間帯はインターネットを使用することができないよう制御しています。

小学校：21 時～6 時まで

中学校：22 時～6 時まで

教育委員会 YouTube チャンネル [こちらをタップ](#)



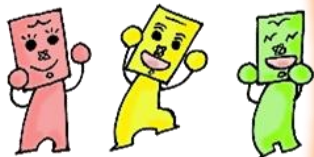
ICT 術

いつも ちゃんと つかおう

じゅつ

第 17 回

GIGA 端末(タブレット)と 年越しをしよう



令和4年（2022年）も押し迫り新たな年を迎えようとしています。子どもたちは、学校で使用している GIGA 端末（タブレット）を自宅に持ち帰り、共に年越しをすることとなるかと思います。そこで、今一度その意味や意義を考えてみたいと思います。

国では、ICT 機器を文房具のように使う授業を想定しています。教師の指導の下で、指示通りに子どもたちに使わせる従来の形は、「教具としての ICT 機器」です。

教師の指示だけでなく、鉛筆、消しゴム、定規などのように子どもが必要に応じて使っていきける姿を目指しているわけです。わからないこと、気になることが出たときにすぐ自分で調べその資料を保存したり、自分の考えをまとめたりが自分の意思でできることが、これからの大切な力となるからです。



こんなことを言う子もいるかと思いますが。こんなときには「一緒に〇〇を調べてくれる?」と誘いをかけてみてはどうでしょう。それも立派な勉強なのです。



こんな思いは端末も嬉しいでしょうね(笑)

年末年始は格好の活用機会

年末年始は、様々な Xmas などの異文化や年越し・正月などの伝統的な行事等に触れる機会がたくさんあります。

子どもにとって疑問や不思議が生まれるときでもあります。あるいは家庭内で持ちかけてもいいでしょう。「サンタはどこで生まれた?」「お寺にもサンタは来るか?」「門松って何のため?」「門松は全国共通?」等々と一緒にタブレットで調べてみるのはどうですか。

また、ネット上で気になる情報も出がちなときです。得た情報の真偽も共に考えることもできます。本市が進めているデジタル・シティズンシップの力を家庭でも育てる機会ともなります。